

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1207	一般事務管理	会計	04	簡易水道事業特別会計
			款	01	簡易水道費
基本施策	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	項	01	簡易水道管理費
			目	1	簡易水道管理費
担当部課名	水道総務課		細目	101	簡易水道管理費
作成者氏名	上田賢博	連絡先	細々目	01	一般事務管理経費
		24-9861			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	簡易水道使用者・水道部職員	使用料の口座振り替えを推進することにより使用者に便宜を図る。適正な会計経理の処理により水道事業の経営健全化に務める。
本年度内容	簡易水道会計に基づく経理事務の電算化により適切な会計処理を行う。 簡易水道事業の庶務事務全般を行うことにより職員が業務に専念できるように努める。 業法令等の改正に伴い条例規定等の制定改廃を行うことにより水道事業の円滑な運営を図る。	
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	4	4	
	臨時職員			
	人件費合計(A)	28,800	28,800	0
支出内訳 (千円)	事業費(B)	29,459	251,249	0
	委託料	220	28,130	
	賃金	8,217	8,466	
	工事請負費		44,000	
	その他	21,022	170,653	
合計(A+B)		58,259	251,249	0
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	141	7,370	
	一般財源	58,118	243,879	0
上記 ~ に関する特記事項				
18年度から細細目の変更に伴い02簡易水道管理費を一般事務管理費に包含する。19年度予算については事業費ではないので不明。 H17・H18は各年度臨時職員7名雇用				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
浄水場の監視(鳥ヶ原) (2人交替勤務で土・日・祭日を 除き毎日)	人	2	2	2			
浄水場の監視(大山田) (4つの浄水場を各人土・日・祭 日を監視)	人	4	4	4			

情勢の変化及び事業の改善点等

経費節減に努めるが、18年度から細細目02は01に包含された。各浄水場の健全な維持管理を行い安全な水道水を安定的に供給する。 簡易水道は、上野簡易水道(諏訪・西山・鳥居出・我山・比土・出屋敷・古郡・第2西部)の給水人口3,455人。鳥ヶ原簡易水道の給水人口2,754人。大山田簡易水道(山田・広瀬・阿波・馬野)の給水人口2,754人。青山簡易水道(阿保上津・南部)9,465人である。18年度で西山、鳥居出簡易水道を上水道に統合。 今後、伊賀用水供給事業は平成21年度に供給開始予定で、諏訪・阿波・馬野簡易水道を除き浄水に統合。
--

評価	達成度	2	最小の経費で最大の効果を得るため需用費等の節減に努めるなど効率性はある。 水道事業の存立基盤であり、企業が存続する限りは不可欠な業務である達成度はあまりない。
	効率性	3	